

2023年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
実務演習 3											
対象	4 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	150	単位	5
担当教員	瀧川 慧、他			実務 経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
ゼネコンにて、医療施設・商業施設・集合住宅等の意匠設計業務に従事したのち、大学での助手を経て本校の教師になる。建築設計やBIMを担当し、VR・AR等様々な最新技術を取り入れた教育を実践する。											
授業概要											
実体験に基づいた知識・経験を得るために見学会を行う。見学会を行う前には事前調査を行い、見学場所の概要・何を見学すべきか・どこに注目すべきかを事前に調査する。見学会後は、得られた情報を分析し、報告書としてまとめる。ディスカッションを行い、分析結果を共有する。また、事前調査・見学会・分析は卒業制作へフィードバックする。											
到達目標											
この授業では、見実体験に基づいた知識・経験を得るために見学会を行う。また、事前調査・実調査・分析という実社会においても必要とされるプロセスを身に着けることを目標とする。見学会に行く前に何を調査しておくべきか(事前調査)、見学会ではどう行動すべきか(実調査)、見学会を行った後どう分析すべきか(分析・報告)を学び、身に着けることを目標とする。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
課題	60%	レポート課題を総合的に評価する									
出席状況	20%	時間を守り授業の取り組み度合いを評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
見学会においては、キャリアデザイン系の科目で学んだ社会人・組織人としての行動やマナーを守ること。集合場所は学外となるため、遅刻に注意すること。また、実際の仕事においては期日を守ることが最優先されるため、レポートは期限内にきちんと提出すること。											
教科書教材											
各見学会にともなう資料、参考文献等											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス・事前調査 ガイダンス・見学会 1 に向けて、事前調査を行う										
第2回	見学会・分析 見学会 1 を行い、見学で得られた情報を分析する										
第3回	発表・ディスカッション 見学会 1 で得た分析結果を発表し、ディスカッションを行い、卒業制作へフィードバックする										
第4回	事前調査 見学会 2 に向けて、事前調査を行う										
第5回	見学会・分析 見学会 2 を行い、見学で得られた情報を分析する。										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
実務演習 3	
第6回	発表・ディスカッション 見学会2で得た分析結果を発表し、ディスカッションを行い、卒業制作へフィードバックする
第7回	事前調査 見学会3に向けて、事前調査を行う
第8回	見学会・分析 見学会3を行い、見学で得られた情報を分析する
第9回	発表・ディスカッション 見学会3で得た分析結果を発表し、ディスカッションを行い、卒業制作へフィードバックする
第10回	卒業制作へフィードバック (1) 見学会1～3で学んだ事前調査・見学会・分析を卒業制作へフィードバックする
第11回	卒業制作へフィードバック (2) 見学会1～3で学んだ事前調査・見学会・分析を卒業制作へフィードバックする
第12回	まとめ 授業の振り返りをおこなう